



日本超音波医学会第93回学術集会 テーマ「～原点回帰～」

*会期：2020年5月22日～24日 *会場：仙台国際センター

ポスターデザイン募集

東北大学における超音波の研究は、戦中・戦後、抜山平一先生、菊池喜充先生などによる音響工学の研究から進歩してきました。その後、時代の流れから医用超音波工学も立ち上がり、現在の超音波診断・治療にまで発展してきました。

特に超音波画像に関する研究は、田中元直先生が心臓の断層図を世界で初めて映像化したことなど、現在の超音波診断装置の基礎を築いてきたという歴史があります。

この学術集会は、前身である第1回超音波研究会(1962年開催)から2020年には93回目を迎えます。そして、23年振りに仙台で開催致します。テーマ「原点回帰」とは、超音波を真正面から取り組み続けてこられた先代の真摯な姿勢に回帰し、学会における本来の学術集会の意義を見直したいという意味が込められています。以上のことから、第93回学術集会では、研究成果の発表とそれに対する議論の場を重視することにより、超音波医学の意義を見つめ直し、先代の功績とすべての研究者に敬意を示す学術集会の場にしたいと思えます。

募集期間：

2018年7月1日

～2018年9月20日

皆様の力作をお待ちしております！

応募条件

- ・「日本超音波医学会第93回学術集会 原点回帰」の文字を含めたデザインであること。
- ・カラーおよびモノクロでの活用を想定したデザインであること。
- ・未発表でオリジナルであること。

使用条件

- ・日本超音波医学会第93回学術集会に関係するポスター、ホームページ等の広報に使用します。
- ・本学術集会閉会後も、日本超音波医学会の広報に使用します。

応募資格

- ・原点回帰をテーマとした学術集会にご理解のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

応募方法

- ・JPEG形式・PDF形式もしくは紙媒体（手書き歓迎）
- ・制作者氏名と制作意図等を記載したwordファイルをメールにて送付をお願いします。

発表及び賞

- ・2018年10月上旬頃、採用作品1点、佳作2点程度を発表します。
- 採用された方には、賞金5万円、佳作に図書カードをお贈りします。
- ・日本超音波医学会東北地方会（2019年3月3日）にて表彰式を行う予定です。

応募及び問い合わせ先

日本超音波医学会第93回学術集会事務局

東北大学大学院工学研究科電子工学専攻 金井・荒川研究室内

【所在】電子・情報システム応物系1号館5階510号室【電話】795-7080【e-mail】93jsu@grp.tohoku.ac.jp

